

「AST 介入による de-escalation 成功・失敗に関する因子の検討」へのご協力をお願い

山口県立総合医療センター薬剤部では、臨床研究倫理審査委員会の審査を受けて、院長の許可のもとで以下の研究を実施しております。内容を確認していただき、研究の対象者に該当する可能性のある方で、研究に情報が用いられることを希望されない場合には、以下問い合わせ先までお申し出ください。

1. 研究の背景と目的

当院においては、2021 年 11 月より抗菌薬適正使用支援チーム（AST といいます）を設置し、抗菌薬適正使用の支援に取り組んでいます。

AST の活動の一環として、広い範囲の細菌に有効な抗菌薬から細菌培養結果をもとに選択的な細菌にしか効果がない抗菌薬への変更（以下 de-escalation といいます）を行っています。この de-escalation は、薬剤耐性菌の出現を抑える目的で行っています。

今回、de-escalation が治療にどう影響したのかを検討する研究を行います。

2. 研究対象者

2021 年 11 月 1 日～2024 年 6 月 30 日の間に、AST が de-escalation の提案を行い、抗菌薬が実際に変更された患者さんを対象とします。

3. 研究の方法

対象期間において、患者の年齢、性別、腎機能、感染症名、基礎疾患、培養結果、抗菌薬投与歴、抗菌薬開始日から de-escalation までの日数などの情報を抽出して、de-escalation 治療への影響について解析します。

4. 臨床研究を実施することにより期待される利益および予想される不利益

本研究は電子カルテから情報を抽出し解析を伴う研究であり、介入及び侵襲を伴わないことから、研究対象者に対する負担及び危険性はありません。また、研究対象者に対する直接的な利益は生じません。しかし、研究成果により今後業務改善され、将来の医療の進歩に貢献できる可能性があります。

5. 個人情報の取り扱い

個人が特定されることのないよう情報の取扱いに十分注意します。また、研究結果は学会等での発表や論文投稿の予定ですが、その際も個人を特定できる情報は利用しません。

6. 問い合わせ先

施設名：山口県立総合医療センター（代表：0835-22-4411）

責任者：薬剤部副部長 渡邊 太朗